

トヨタ純正

GR ロールバー

取付要領書

このたびはトヨタ純正 GR ロールバーをお買い上げいただきありがとうございます。

本書は GR ロールバーの取り付け要領について記載してあります。

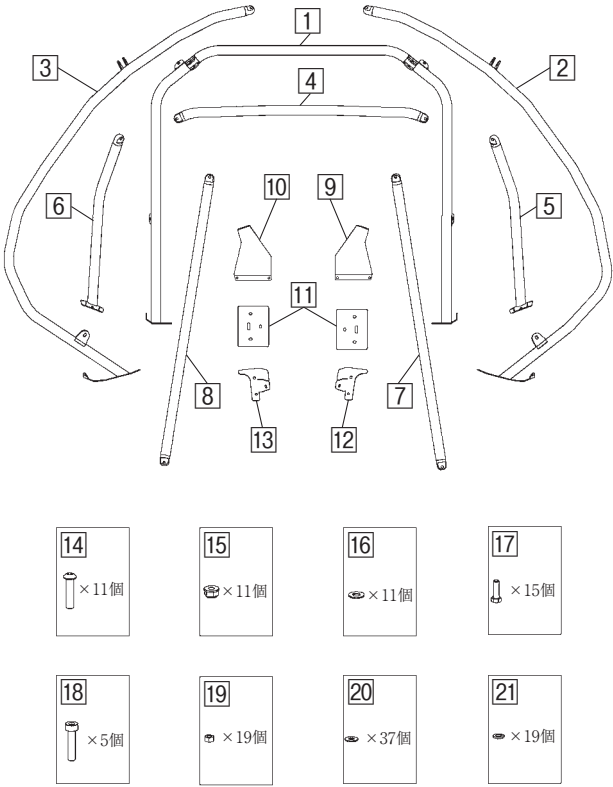
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

本書を必ずお客様にお渡しください。

品 番

619A0 - 52020	GR ロールバー (サイドバー有り)
619A0 - 52010	GR ロールバー (サイドバー無し)

構成部品

GR ロールバー (サイドバー有り) (619A0-52020)	No.	品 名	品 番	個数
	1	メインアーチ	—	1
	2	フロントアーチ RH	—	1
	3	フロントアーチ LH	—	1
	4	フロントロールバー	—	1
	5	リヤバー RH	—	1
	6	リヤバー LH	—	1
	7	サイドバー RH	—	1
	8	サイドバー LH	—	1
	9	フロントアーチ RH 用床下当て板	—	1
	10	フロントアーチ LH 用床下当て板	—	1
	11	メインアーチ用床下当て板	—	2
	12	リヤバー RH 用床下当て板	—	1
	13	リヤバー LH 用床下当て板	—	1
	14	六角穴付きボタンボルト (M10 × 45mm)	—	11 (10)
	15	フランジナット (M10)	—	11 (10)
	16	平ワッシャー (φ 10)	—	11 (10)
	17	六角ボルト (M8 × 25mm)	—	15 (14)
	18	六角穴付きボルト(キャップボルト) (M8 × 40mm)	—	5 (4)
	19	ナット (M8)	—	19 (18)
	20	平ワッシャー (φ 8)	—	37 (36)
	21	スプリングワッシャー (φ 8)	—	19 (18)

()内の数字は実際に使用する個数です。

No.	品 名	品 番	個数
22	配線コネクター	———	8
23	抵抗 (2.2 Ω)	———	4
24	コルゲートチューブ (φ 20 × 500mm)	———	1
25	ロールバーパッドメインアーチ	———	1
26	ロールバーパッドリヤバー	———	2
27	ロールバーパッド F アーチバー	———	2
28	ロールバーパッドサイドバー RH	———	1
29	ロールバーパッドサイドバー LH	———	1
30	アセテートテープ	———	1
31	クランプ (200mm)	———	20
32	内装カット指示書・型紙	———	1
33	取付要領書	———	1
34	ロールバーパッド取付説明書	———	1

※ GR ロールバーの取り付けには、別品番の下記部品が必要です。
必ず下記部品をご使用ください。

No.	品 名	品 番	個数
1	A ピラーガーニッシュ RH	62211-52470-C0	1
2	A ピラーガーニッシュ LH	62212-52490-C0	1

※別途お買い求めください。

No.	品 名	品 番	個数
1	両面テープ (3M製 BT3005)	T00062	1

GR ロールバー (サイドバー無し) (619A0-52010)		No.	品 名	品 番	個数
		1	メインアーチ	———	1
		2	フロントアーチ RH	———	1
		3	フロントアーチ LH	———	1
		4	フロントルーフバー	———	1
		5	リヤバー RH	———	1
		6	リヤバー LH	———	1
		7	———	———	—
		8	———	———	—
		9	フロントアーチ RH 用床下当て板	———	1
		10	フロントアーチ LH 用床下当て板	———	1
		11	メインアーチ用床下当て板	———	2
		12	リヤバー RH 用床下当て板	———	1
		13	リヤバー LH 用床下当て板	———	1
		14	六角穴付きボタナット (M10 × 45mm)	———	7 (6)
		15	フランジナット (M10)	———	7 (6)
		16	平ワッシャー (φ 10)	———	7 (6)
		17	六角ボルト (M8 × 25mm)	———	15 (14)

()内の数字は実際に使用する個数です。

No.	品 名	品 番	個数
18	六角穴付きボルト(キャップボルト) (M8×40mm)	—	5 (4)
19	ナット (M8)	—	19 (18)
20	平ワッシャー (φ 8)	—	37 (36)
21	スプリングワッシャー (φ 8)	—	19 (18)
22	配線コネクター	—	4
23	抵抗 (2.2 Ω)	—	2
24	コルゲートチューブ (φ 20×500mm)	—	1
25	ロールバーパッドメインアーチ	—	1
26	ロールバーパッドリヤバー	—	2
27	ロールバーパッド F アーチバー	—	2
28	—	—	—
29	—	—	—
30	アセテートテープ	—	1
31	クランプ (200mm)	—	20
32	内装カット指示書・型紙	—	1
33	取付要領書	—	1
34	ロールバーパッド取付説明書	—	1

()内の数字は実際に使用する個数です。

※ GR ロールバーの取り付けには、別品番の下記部品が必要です。
必ず下記部品をご使用ください。

No.	品 名	品 番	個数
1	A ピラーガーニッシュ RH	62211-52470-C0	1
2	A ピラーガーニッシュ LH	62212-52490-C0	1

※別途お買い求めください。

No.	品 名	品 番	個数
1	両面テープ (3M製 BT3005)	T00062	1

取り付け上の注意事項

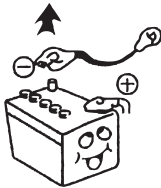
この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています

- △注意 … 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を破損する等の恐れがあることを記載しています
 ④アドバイス … スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています

- (1) 車を水平な場所に停車してパーキングブレーキを引き、輪留めを確実に行ってください。
- (2) 下回り作業中は、安全に配慮し、エンジン始動及び乗車は絶対しないでください。
- (3) 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時に間違いのないよう配慮してください。また、車両及び取りはずした部品に傷を付けないよう取り扱いには充分注意してください。
- (4) バッテリー復元作業終了後、車両機能部品に初期化が必要な部品がありますので、作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

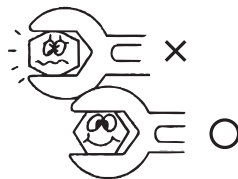
取り付ける前に

- バッテリーの（－）側ケーブルをはずす

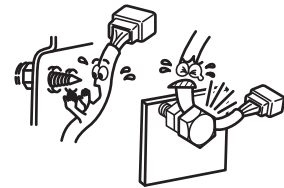


部品の取り付けは

- 寸法に合った工具を使う



- 裏側に注意し、ハーネス噛み込みに注意する



配線は

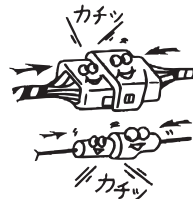
- コネクタは本体を持てはらず



- 車両ハーネスとまとめたり、クランプを使用して固定する



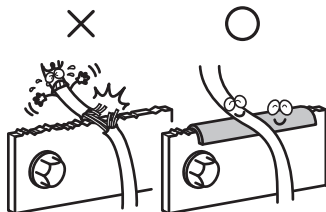
- コネクタは確実に接続する



- 無理に引っ張らない



- バリ・エッジ部は保護シート等で保護する



- 車両部品が確実に復元できるようハーネスを処理する



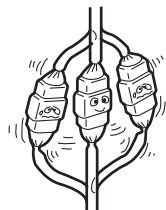
クランプは

- クランプは締め過ぎない

- カットした末端が他のハーネスと接触しないように注意する

- 余った部分をカットする

- コネクタを異音がしないようにクランプする

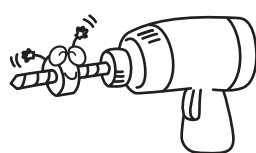


穴開け作業は

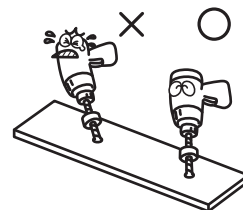
- 保護メガネを着用する



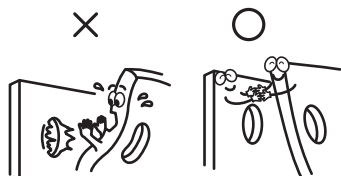
- ドリルにストッパーを装着する



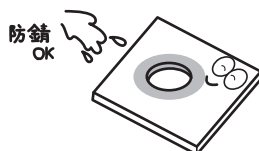
- 無理な姿勢で作業をしない



- 穴開け後のバリはヤスリ等で取り除く



- 穴開け部の防錆処理を確実に行う



- 切り粉を素手でさわらない



取り付け完了後は

- 取りはずした車両部品は確実に復元する



取り付けに必要な工具等

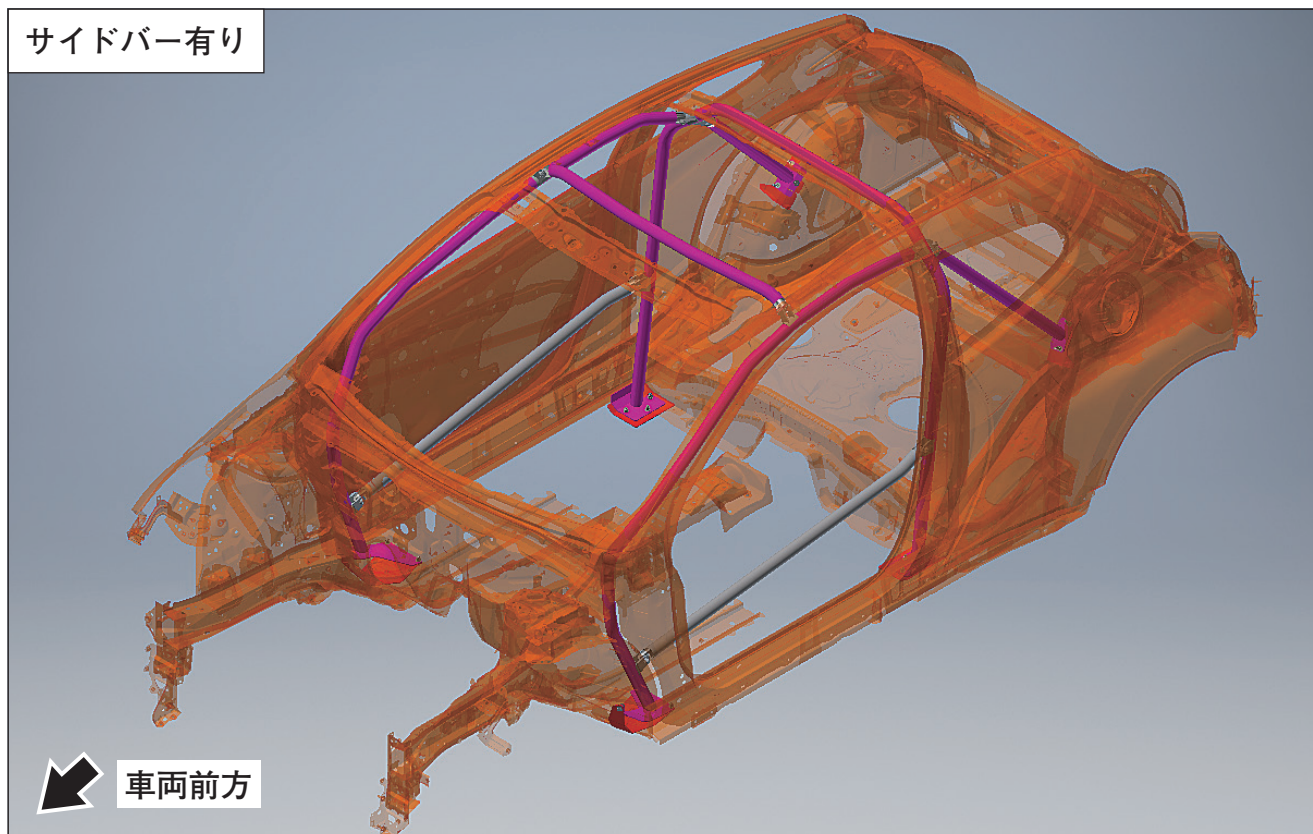
一般工具、保護テープ、ケブラー手袋、ドリル(φ 3、φ 6、φ 8、φ 10)、ビニールテープ、スクレーパー、リユーター、ヤスリ、カッターナイフ、シール剤(セメダイン透明 8000 相当)、ビニール手袋、金切りはさみ、エアソー、ケガキ針、マーカー、ニッパー、マスキングテープ、保護メガネ、各種リムーバー、グラインダー、塗布用筆、錆止め剤、バール、ポンチ、油性マジック(黒)、保護シート、瞬間接着剤(液状のもの)、掃除機、中性洗剤、スプレー容器、水、平板または長尺定規
※その他必要な工具は修理書を参照してください。

始業点検

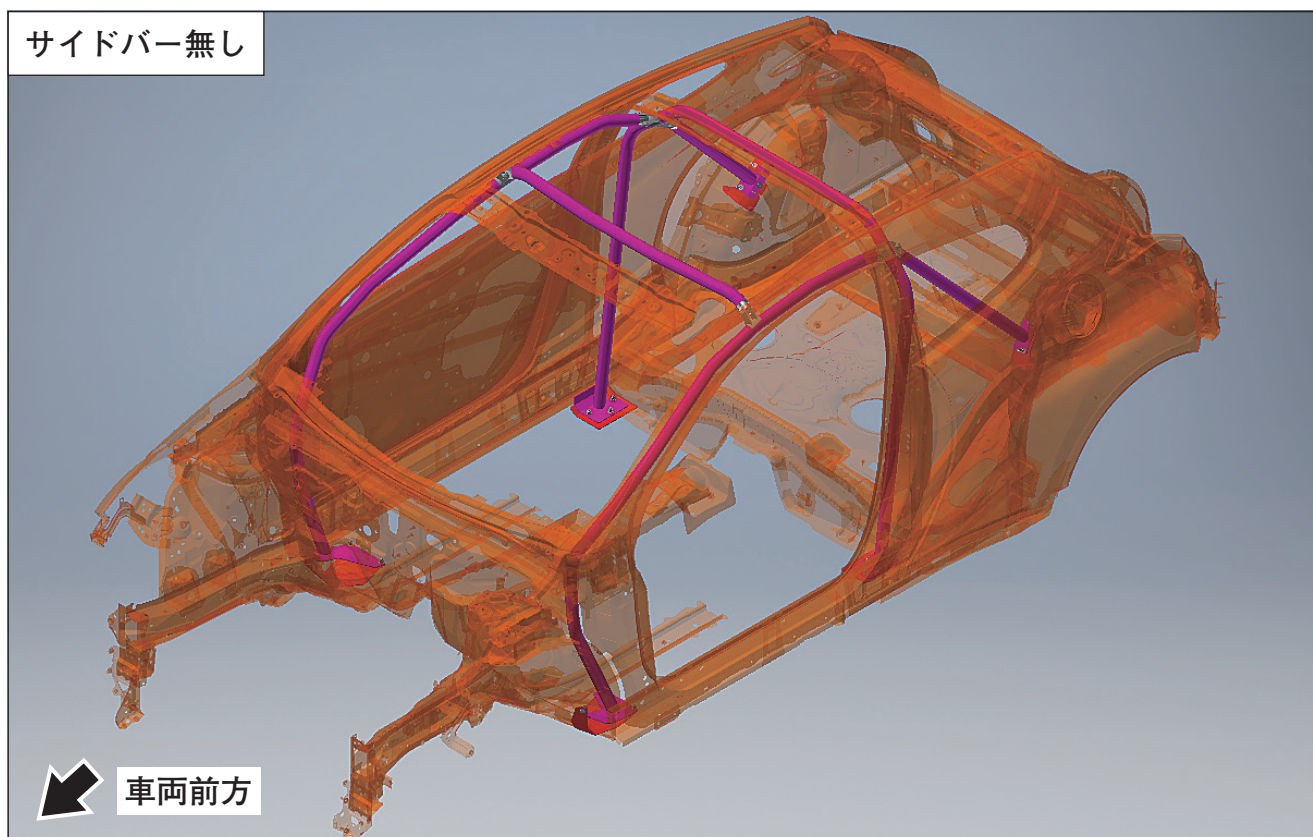
ドアロック・パワーウインド・ハザード等、電気系統の作動確認を実施してください。

取付概要

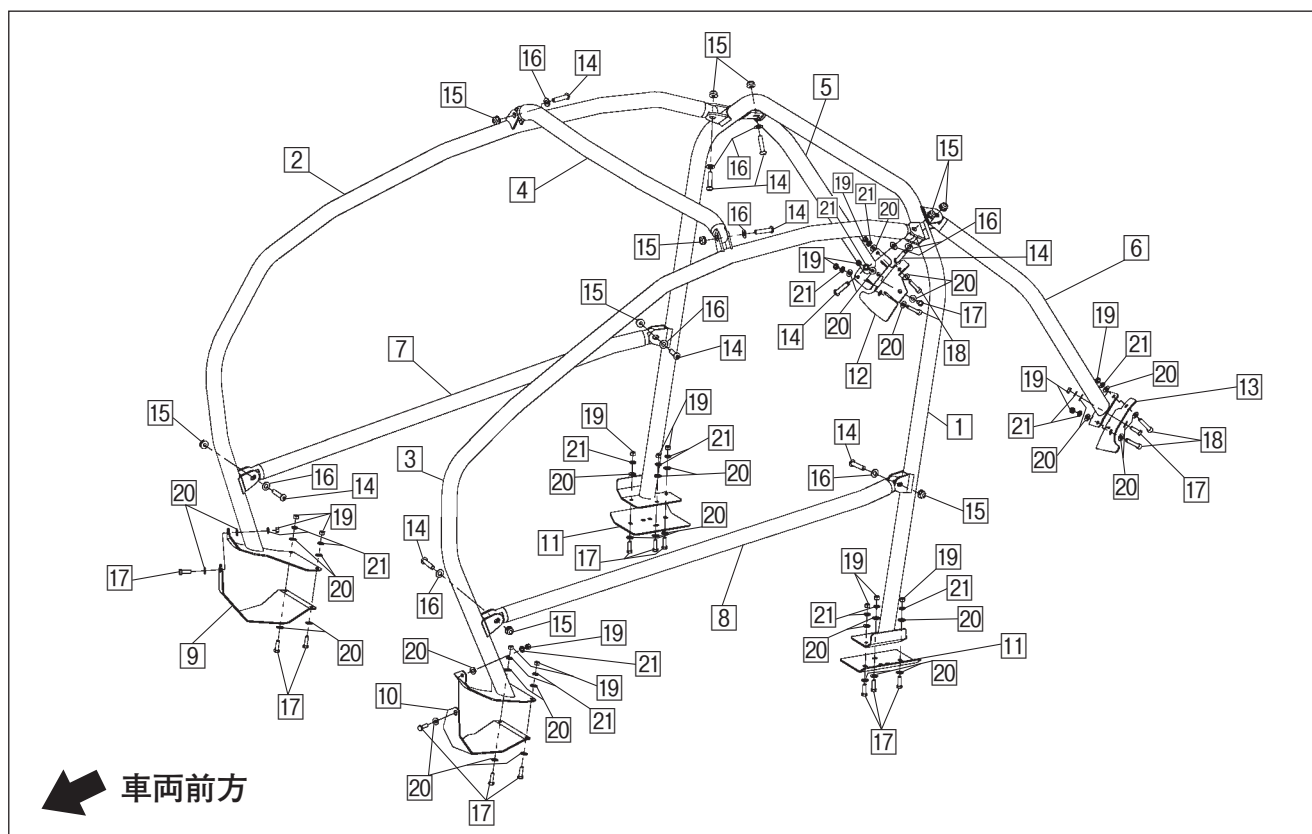
サイドバー有り



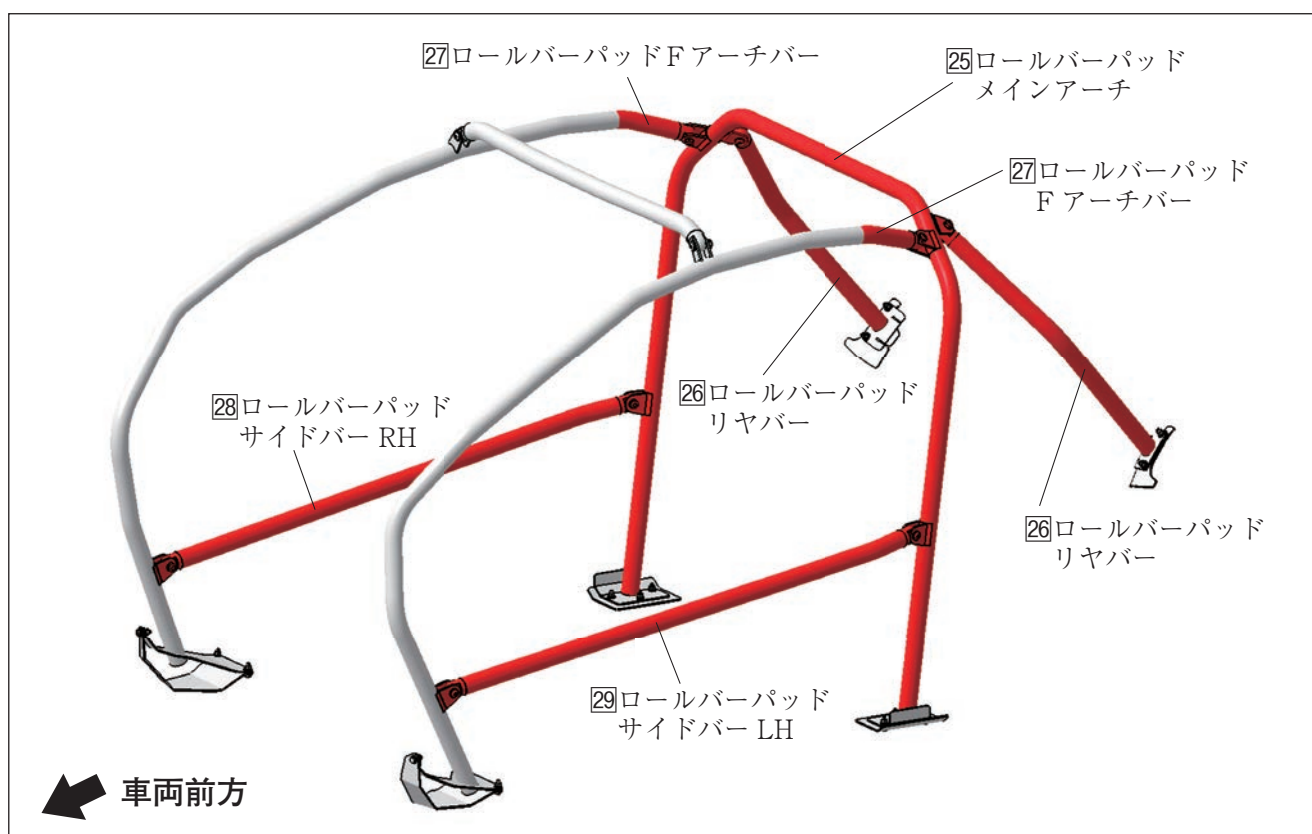
サイドバー無し



ロールバー部品取付概要

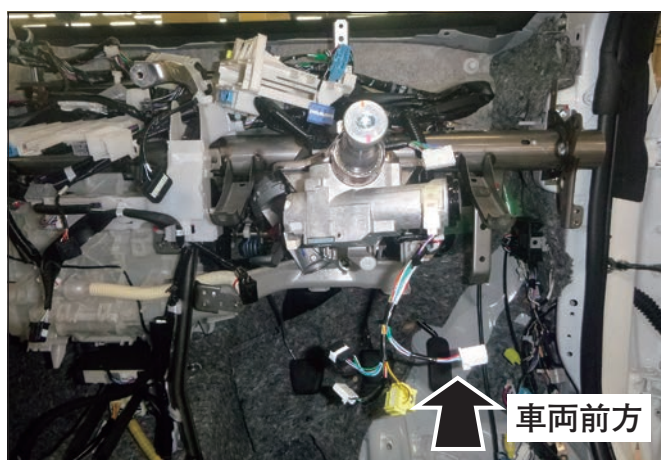


ロールバーパッド取付概要



車両部品の取りはずし要領

1. 修理書を参照し、写真の状態になるよう、タイヤ及び車両部品を取りはずす。



内装部品のカット

穴あけ時の注意事項

内装部品に穴あけをする際は、下記注意事項を守り作業を行ってください。

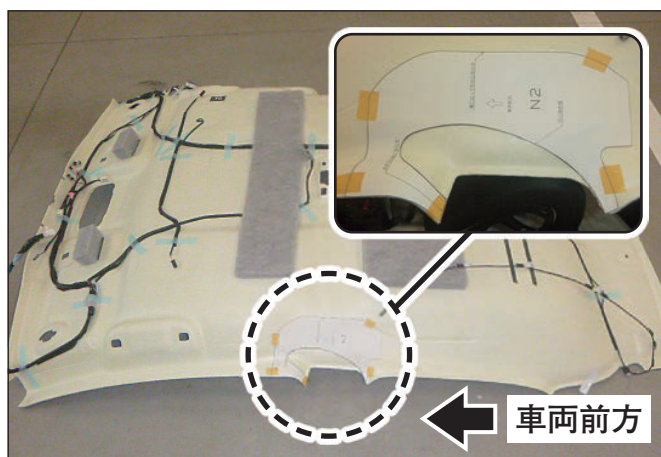
⚠ 注意

- ・穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、下穴からズレないように注意してください。
- ・作業時は保護メガネを着用してください。
- ・穴あけ加工時は、車室内の配線等を傷つけないように注意してください。
- ・ドリルに巻き込まれる恐れがあるため、手袋などは着用しないでください。
- ・バリを取り除く際、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。
- ・カッターナイフを使用する際は、必ずケブラー手袋を着用してください。

内装部品カット チェックシート

- ・内装部品をカットする際は、付属の型紙及び指示書に従い、作業を行ってください。
 - ・ロールバー（サイドバー有無）により、作業箇所が異なります。
- 以下のチェックシートに従って、作業する内装部品・型紙を特定し、作業を進めてください。

指示書	作業内容	サイドバー無し		サイドバー有り	
		RH	LH	RH	LH
カウルサイドトリム RH 1/3	リブカット				
カウルサイドトリム RH 2/3	フロントアーチ干渉部カット				
カウルサイドトリム RH 3/3	サイドバー貫通穴カット				
カウルサイドトリム LH 1/3	リブカット				
カウルサイドトリム LH 2/3	フロントアーチ干渉部カット				
カウルサイドトリム LH 3/3	サイドバー貫通穴カット				
センターピラーガーニッシュ RH・LH 1/4	リブカット範囲の確認				
センターピラーガーニッシュ RH・LH 2/4	リブ・ツメカット				
センターピラーガーニッシュ RH・LH 3/4	メインアーチ干渉部カット				
センターピラーガーニッシュ RH・LH 4/4	上端部カット				
クォータートリム RH・LH 1/2	リヤバー貫通穴カット				
クォータートリム RH・LH 2/2	サイドバー貫通穴カット				
エアコンダクト RH	フロントアーチ干渉部カット				
エアコンダクト LH	フロントアーチ干渉部カット				
インストルメントパネル(RZ・RZ-high) 1/2	フロントアーチ干渉部カット				
インストルメントパネル(RZ・RZ-high) 2/2	フロントアーチ干渉部カット				
インストルメントパネル(RC)	フロントアーチ干渉部カット				



ルーフライニング チェックシート

指示書	作業内容	サイドバー無し		サイドバー有り	
		RH	LH	RH	LH
ルーフライニング	フロントアーチ干渉部カット				
アシストグリップ取付穴の処理	エプトシーラー貼り付け				

ルーフライニングのカット

1. 付属の型紙及び指示書に従い、ルーフライニングをカットする。

⚠ 注意

カッターナイフを使用する際は、必ずケブラー手袋を着用してください。

2. 付属の指示書に従い、エプトシーラーでルーフライニングのアシストグリップ取付穴を塞ぐ。

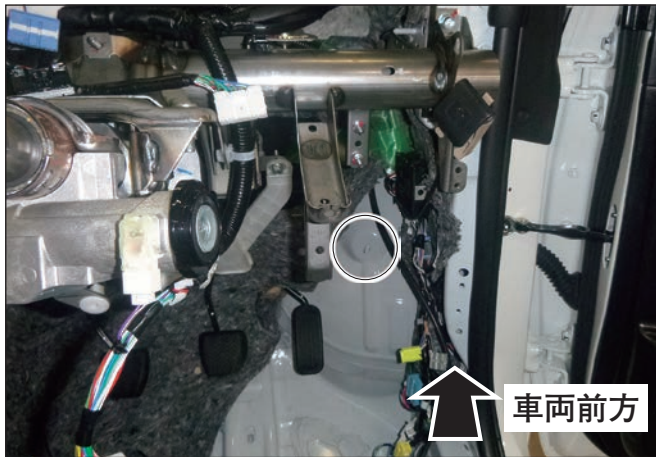
👉 アドバイス

- ・ロールバーを装着する際、アシストグリップは取りはずした後、再使用しません。
- ・エプトシーラーは、A ピラーガーニッシュ RH(62211-52470)に同梱されています。

ダッシュパネルパッド チェックシート

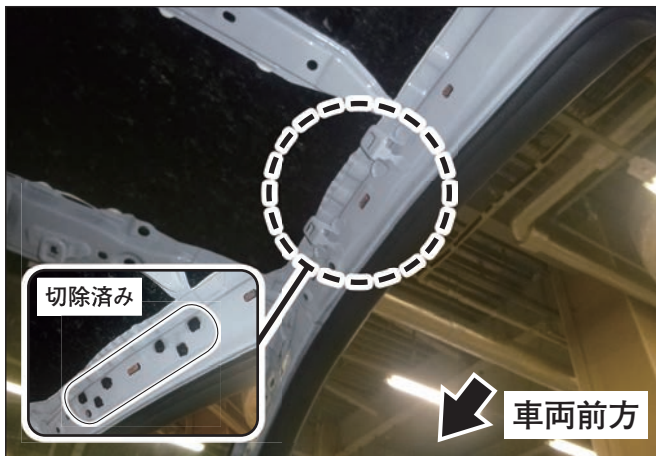
内装部品をカットする際は、付属の型紙及び指示書に従い、作業を行ってください。

指示書	作業内容	サイドバー無し		サイドバー有り	
		RH	LH	RH	LH
ダッシュパネルパッド RH	フロントアーチ干渉部カット				
ダッシュパネルパッド LH	フロントアーチ干渉部カット				



カウルサイドトリム裏スタッドボルトの切除

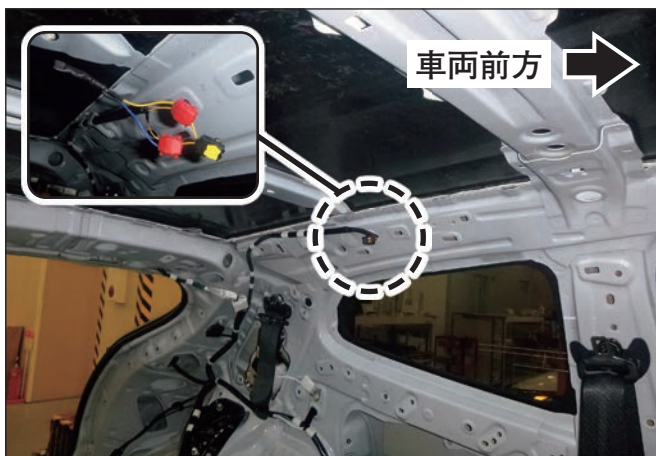
1. エアソーまたは金切りはさみを使用し、カウルサイドトリム RH 裏側のスタッドボルトを切除する。
2. 切除部に塗布用筆を使用して、錆止め剤を塗布する。
3. 同様に、LH 側も切除する。



アシストグリップステーの切除

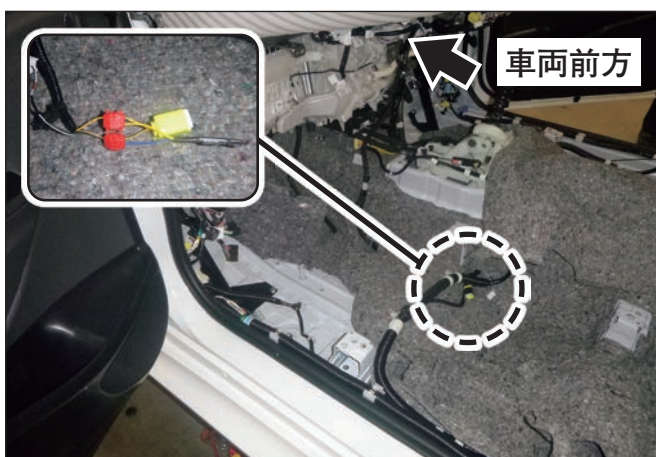
1. 金切りはさみまたはプライヤーを使用し、アシストグリップステー RH のスポットを切除する。
2. ヤスリ等でスポット跡をきれいにする。
3. 切除部に塗布用筆を使用して、錆止め剤を塗布する。
4. 同様に、LH 側も切除する。

エアバッグキャンセラーの取り付け



カーテンシールドエアバッグキャンセラーの取り付け

1. 車両ハーネスのコルゲートチューブを 40mm 程度カットする。
2. 付属の抵抗(2.2 Ω)を付属の配線コネクタで車両ハーネスに接続する。
3. 配線コネクタ及び抵抗をビニールテープで絶縁処理する。
4. 同様に、RH 側に抵抗を接続し、ビニールテープで絶縁処理する。



サイドエアバッグキャンセラーの取り付け (サイドバー有りのみ)

1. 車両ハーネスに巻かれているビニールテープを取りはずす。
2. 付属の抵抗(2.2 Ω)を付属の配線コネクタで車両ハーネスに接続する。
3. 配線コネクタ及び抵抗をビニールテープで絶縁処理する。
4. 同様に、RH 側に抵抗を接続し、ビニールテープで絶縁処理する。

取付要領



メインアーチの搬入

1. ロールバーパッド取付概要(P.7)を参照し、メインアーチにロールバーパッドメインアーチを取り付ける。

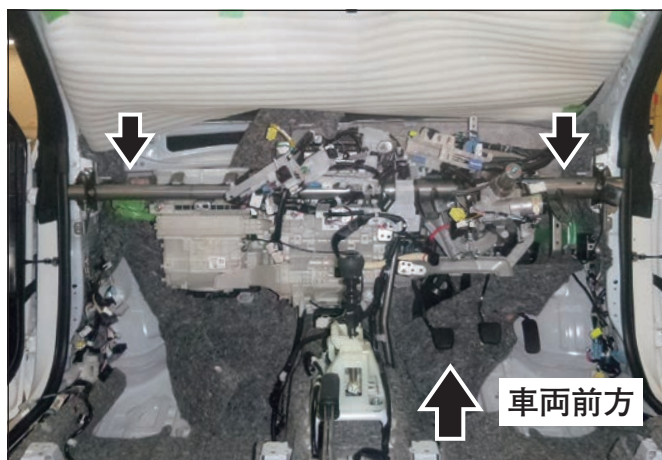
👉 アドバイス

ロールバーパッドの取り付けは、ロールバーパッドに付属の説明書を参照してください。

2. ロールバー搬入時に干渉する恐れのある部分を養生する。
3. メインアーチを車内に搬入する。

👉 アドバイス

フロア固定部の切り欠きが車両後方にくるようメインアーチを搬入してください。



フロントアーチの搬入

1. フロントガラス部に保護シートを取り付ける。
2. フロントアーチ RH 及びフロントアーチ LH を矢印部から挿入する。

⚠ 注意

フロントアーチ挿入時にフロントガラスを破損する恐れがありますので、必ず保護シートを取り付けてください。

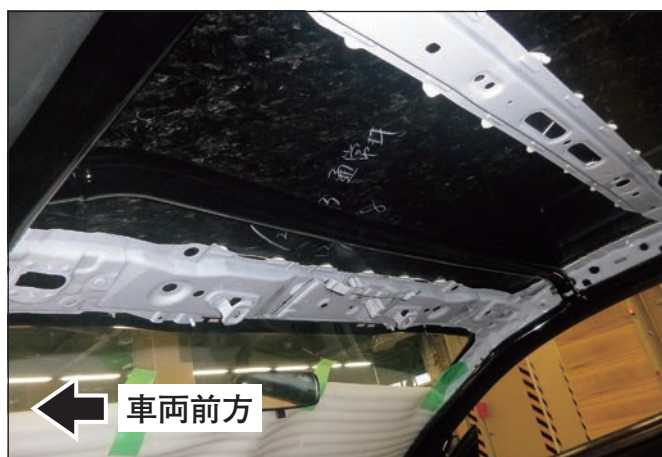
3. バール等を使用し、フロントアーチ RH 及びフロントアーチ LH に干渉するリーンホースステーを折り曲げる。

⚠ 注意

フロントアーチに傷が付かないように養生してください。

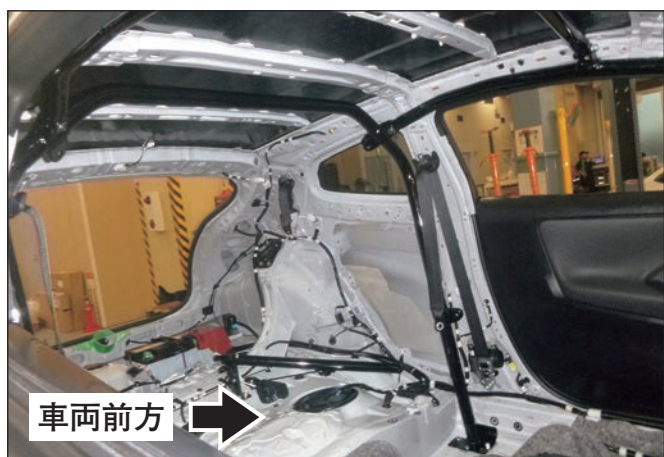
👉 アドバイス

干渉する場合のみ折り曲げてください。



仮組み

1. 付属の六角穴付きボタンボルト (M10 × 45mm) 2 本、平ワッシャー (φ 10) 2 個及びフランジナット (M10) 2 個を使用し、フロントルーフバーとフロントアーチを仮組みする。



2. 付属の六角穴付きボタンボルト (M10 × 45mm) 2 本、平ワッシャー (φ 10) 2 個及びフランジナット (M10) 2 個を使用し、メインアーチとフロントアーチを仮組みする。



アンダーコートの削除

1. 仮組みしたメインアーチのフロア固定部と、アンダーコートが干渉する部分にマーカーで線を引く。(RH/LH 2 箇所)

👉 アドバイス

- ・ 赤線は、メインアーチがフロアと接地する部分を示しています。
- ・ グレードによっては、アンダーコートが付いていない車両があります。

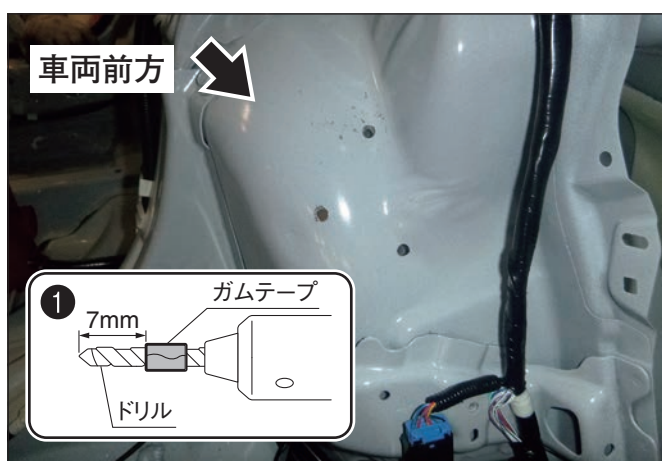


2. 同様に、フロントアーチのフロア固定部と、アンダーコートが干渉する部分にマーカーで線を引く。(RH/LH 2 箇所)
3. フロントアーチからメインアーチをはずす。
4. スクレーパーを使用し、マーキング部分のアンダーコートを削除する。



リヤバー RH 取付部の穴あけ

1. 付属のリヤバー RH 用床下当て板をプレスラインに合わせ、リヤバー RH 用床下当て板と、アンダーコートが干渉する部分にマーカーで線を引く。
2. スクレーパーを使用し、マーキング部分のアンダーコートを削除する。
3. 再度、リヤバー RH 用床下当て板を配置し、当て板のボルト穴中心に対して垂直にポンチで印を付ける。



4. $\phi 3$ のドリルでポンチ位置に下穴をあける。
5. $\phi 8$ のドリルで車室内側から下穴に本穴をあける。
6. 穴のバリを取り除く。
7. 穴あけ加工部に、塗布用筆を使用して、錆止め剤を塗布する。

⚠ 注意

- ・穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、ポンチ位置及び下穴からズレないように注意してください。
- ・作業時は保護メガネを着用してください。
- ・ドリルに巻き込まれる恐れがあるため、手袋などは着用しないでください。
- ・バリを取り除く際、穴径が大きくならないように注意してヤスリ等で取り除いてください。
- ・車室内に飛散した切り粉を完全に除去しないと、錆汁がたれる可能性があります。掃除機にて確実に切り粉を取り除いてください。
- ・錆止め剤が穴あけ加工部以外に付着しないよう注意してください。

リヤバー LH 取付部の穴あけ

1. 燃料パイプ固定用ブラケットをはずす。
2. 付属のリヤバー LH 用床下当て板をプレスラインに合わせ、リヤバー LH 用床下当て板と、アンダーコートが干渉する部分にマーカーで線を引く。
3. スクレーパーを使用し、マーキング部分のアンダーコートを削除する。

⚠ 注意

燃料パイプに傷を付けないよう注意してください。

4. 再度、リヤバー LH 用床下当て板を配置し、当て板のボルト穴中心に対して垂直にポンチで印を付ける。
5. $\phi 3$ のドリルでポンチ位置に下穴をあける。
6. ①に従い、 $\phi 8$ のドリル先端にストッパーとなるよう、ガムテープを巻き付ける。
7. $\phi 8$ のドリルで車室内側から下穴に本穴をあける。
8. 穴のバリを取り除く。
9. 穴あけ加工部に、塗布用筆を使用して、錆止め剤を塗布する。

⚠ 注意

- ・穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、ポンチ位置及び下穴からズレないように注意してください。
- ・作業時は保護メガネを着用してください。
- ・ドリルに巻き込まれる恐れがあるため、手袋などは着用しないでください。
- ・バリを取り除く際、穴径が大きくならないように注意してヤスリ等で取り除いてください。
- ・車室内に飛散した切り粉を完全に除去しないと、錆汁がたれる可能性があります。掃除機にて確実に切り粉を取り除いてください。
- ・錆止め剤が穴あけ加工部以外に付着しないよう注意してください。
- ・燃料パイプに傷を付けないよう注意してください。



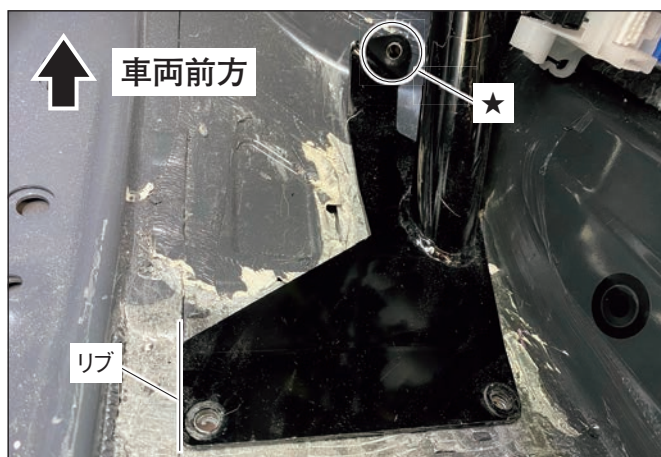
メインアーチ取付部の穴あけ

1. 付属の六角穴付きボタンボルト (M10 × 45mm) 2 本、平ワッシャー (φ 10) 2 個及びフランジナット (M10) 2 個を使用し、メインアーチとフロントアーチを仮組みする。
2. メインアーチをフロア後方外側に押し当て、ボルト穴の中心に対して垂直にポンチで印を付ける。
3. フロントアーチからメインアーチをはずす
4. φ 3 のドリルでポンチ位置に下穴をあける。
5. φ 8 のドリルで下穴に本穴をあける。
6. 同様に、RH 側の本穴をあける。
7. 穴のバリを取り除く。
8. 穴あけ加工部に、塗布用筆を使用して、錆止め剤を塗布する。

⚠ 注意

- ・ 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、ポンチ位置及び下穴からズレないように注意してください。
- ・ 作業時は保護メガネを着用してください。
- ・ ドリルに巻き込まれる恐れがあるため、手袋などは着用しないでください。
- ・ バリを取り除く際、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。
- ・ 車室内に飛散した切り粉を完全に除去しないと、錆汁がたれる可能性があります。掃除機にて確実に切り粉を取り除いてください。
- ・ 錆止め剤が穴あけ加工部以外に付着しないよう注意してください。

9. 付属の六角穴付きボタンボルト (M10 × 45mm) 2 本、平ワッシャー (φ 10) 2 個及びフランジナット (M10) 2 個を使用し、メインアーチとフロントアーチを仮組みする。
10. メインアーチ取付穴に、付属の六角ボルト (M8 × 25mm) 6 本を挿し込む。



フロントアーチ取付部の穴あけ

1. フロントアーチをフロアに押さえつけながら車両前方に押し当て、★部ボルト穴の中心に対して垂直にポンチで印を付ける。

⚠ 注意

フロア固定プレートがリブに重ならないよう注意してください。

2. $\phi 3$ のドリルでポンチ位置にフロア固定プレートの上から下穴をあける。
3. $\phi 8$ のドリルでフロア固定プレートの上から本穴をあける。
4. 付属の六角ボルト (M8 × 25mm) を★部に挿し込み、フロントアーチを車両前方に押し、位置出しをする。
5. 同様に、残りのボルト穴 (2箇所) に本穴をあける。
6. 同様に、LH 側の本穴をあける。
7. フロントアーチからフロントルーフバー及びメインアーチをはずす。
8. 穴のバリを取り除く。
9. 穴あけ加工部に、塗布用筆を使用して、錆止め剤を塗布する。

⚠ 注意

- ・ 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、ポンチ位置及び下穴からズレないように注意してください。
- ・ 作業時は保護メガネを着用してください。
- ・ ドリルに巻き込まれる恐れがあるため、手袋などは着用しないでください。
- ・ バリを取り除く際、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。
- ・ 車室内に飛散した切り粉を完全に除去しないと、錆汁がたれる可能性があります。掃除機にて確実に切り粉を取り除いてください。
- ・ 錆止め剤が穴あけ加工部以外に付着しないよう注意してください。



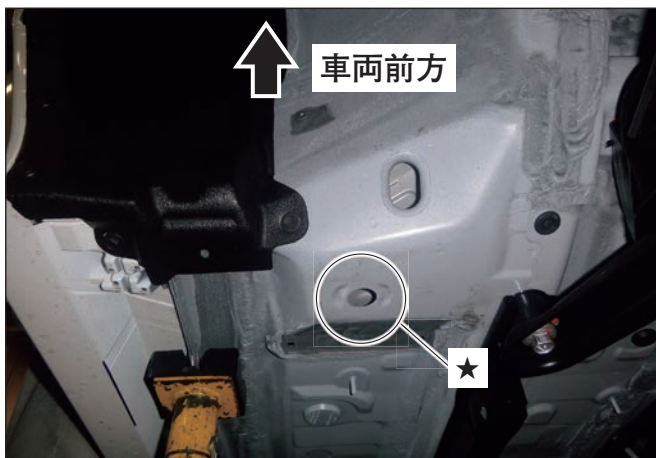
アンダーコートの削除

1. メインアーチ取付穴にメインアーチ RH 用床下当て板を仮合わせし、アンダーコートが干渉する部分にマーカーで線を引く。(RH/LH 2箇所)
2. スクレーパーを使用し、マーキング部分のアンダーコートを削除する。



アドバイス

グレードによっては、アンダーコートが付いていない車両があります。



3. ★部のグロメットを取りはずす。



アドバイス

取りはずしたグロメットは再使用しません。

4. フロントアーチ取付穴にフロントアーチ用床下当て板を仮合わせし、アンダーコートが干渉する部分にマーカーで線を引く。(RH/LH 2箇所)
5. スクレーパーを使用し、マーキング部分のアンダーコートを削除する。



アドバイス

グレードによっては、アンダーコートが付いていない車両があります。

ロールバーパッド F アーチバーの取り付け

1. ロールバーパッド取付概要(P.7)を参照し、フロントアーチにロールバーパッド F アーチバーを取り付ける。

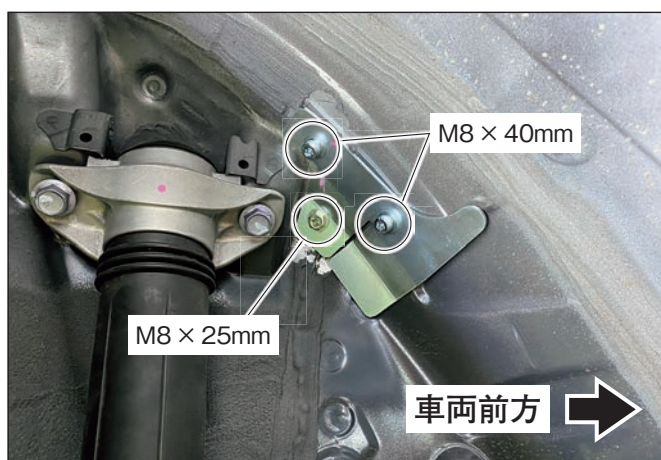
⚠ 注意

フロントアーチにロールバーパッド F アーチバーを取り付ける際は、車室内に落ちる水滴を必ず拭き取ってください。



アドバイス

ロールバーパッドの取り付けは、ロールバーパッドに付属の説明書を参照してください。



ロールバー取付位置の確認

1. 付属の六角穴付きボタンボルト (M10 × 45mm) 4 本、平ワッシャー (φ 10) 4 個及びフランジナット (M10) 4 個を使用し、メインアーチ、リヤバー及びフロントアーチを仮組みする。
2. 付属の六角ボルト (M8 × 25mm) 12 本、平ワッシャー (φ 8) 12 個及びナット (M8) 12 個を使用し、メインアーチ及びフロントアーチを床下当て板で仮固定する。

⚠ 注意

ボルトは車両外側から挿入してください。

3. 付属の六角ボルト (M8 × 25mm) 2 本、六角穴付きボルト (キャップボルト) (M8 × 40mm) 4 本、平ワッシャー (φ 8) 6 個及びナット (M8) 6 個を使用し、リヤバーを床下当て板で仮固定する。

⚠ 注意

- ・ 挿入するボルトを間違えないよう注意してください。
- ・ ボルトは車両外側から挿入してください。

4. 仮固定した床下当て板をメインアーチ→リヤバー→フロントアーチの順で締め付ける。
5. 付属の六角穴付きボタンボルト (M10 × 45mm) 2 本、平ワッシャー (φ 10) 2 個及びフランジナット (M10) 2 個を使用し、フロントルーフバーをフロントアーチに固定する。(2箇所)
締め付けトルク：58N・m

👉 アドバイス

復元時ルーフライニングへの干渉を防ぐ為、フロントルーフバーは天井部へ押し付け、締め付けてください。

6. 仮組みしたジョイント部をリヤバー→フロントアーチの順で締め付ける。

👉 アドバイス

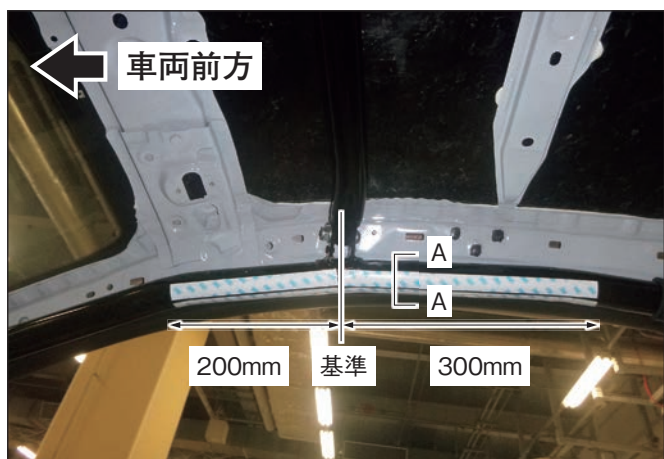
- ・ 位置確認の為、本締めではありません。
- ・ フロントアーチと A ピラーのクリアランスが左右均等になるように締め付けてください。

ロールバーパッドの取り付け

1. フロントルーフバー以外全てのボルトをはずす。
2. メインアーチを車室内に寝かす。
3. リヤバーを取り出す。
4. ロールバーパッド取付概要 (P.7) を参照し、リヤバー及びサイドバーにロールバーパッドを取り付ける。

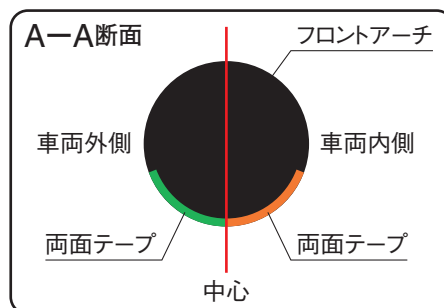
👉 アドバイス

ロールバーパッドの取り付けは、ロールバーパッドに付属の説明書を参照してください。



フロントアーチ両面テープ貼り付け

1. フロントアーチを脱脂する。
2. 両面テープ(3M製 BT3005)を 300mm × 4 枚、200mm × 4 枚にカットする。
3. フロントルーフバージョイント部中心を基準に、両面テープを A-A 断面に従い貼り付ける。



4. 同様に、LH 側も両面テープを貼り付ける。



内装部品の復元

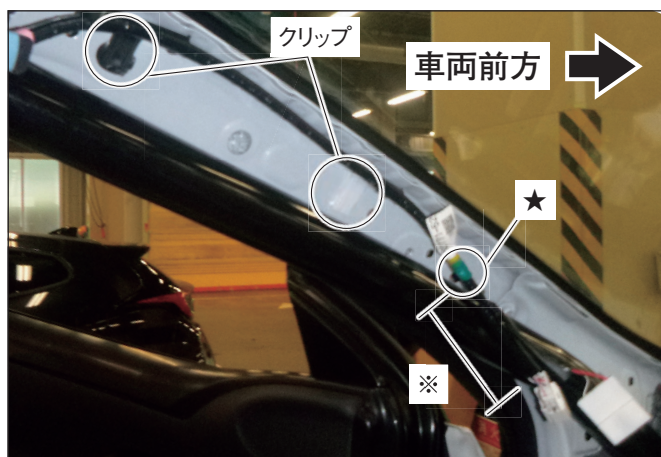
1. ルーフライニングを車室内に入れる。

👉 アドバイス

- ・フロントアーチに巻いたロールバーパッドに傷が付かないよう注意して、ルーフライニングを入れてください。
- ・ルーフライニングの取り付けは、フロントアーチが隠れるように取り付けてください。



2. ルーフライニングリヤ側のコネクターを接続し、樹脂クリップ及びルームランプでルーフライニングを固定する。



A ピラー車両ハーネスの処理

1. ★部クリップを車両ハーネスから取りはずす。
2. ※間のテープを取りはずす。
3. クリップ(2箇所)を復元する。
4. 同様に、RH 側も作業する。



5. 内装部品を①→③の順で復元する。
6. リヤバーをクォータートリムの加工穴に通し、車両前方側のクリップのみ復元する。



ロールバーの固定

1. 付属の六角穴付きボタンボルト (M10 × 45mm) 2本、平ワッシャー (φ 10) 2個及びフランジナット (M10) 2個を使用し、メインアーチ及びフロントアーチを仮組みする。

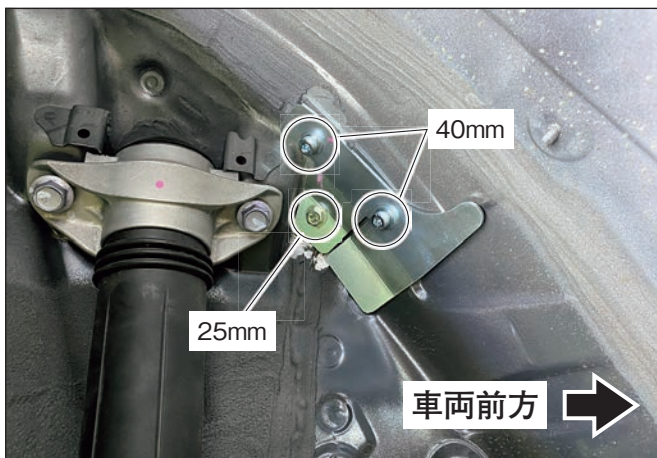
⚠ 注意

- ・ボルトは室内側から車外に向けて挿入してください。
- ・メインアーチを起す際は、ルーフライニングが移動しないよう注意してください。

2. メインアーチ用床下当て板取付部に付着した汚れを取り除く。
3. シール剤(セメダイン透明 8000 相当)をボデーにあけた取付穴の外周に塗布する。
4. 付属の六角ボルト (M8 × 25mm) 6本、スプリングワッシャー (φ 8) 6個、平ワッシャー (φ 8) 12個及びナット (M8) 6個を使用し、ロールバー部品取付概要 (P.7)を参照して、メインアーチをメインアーチ用床下当て板で仮固定する。

⚠ 注意

- ・ボルトは車両外側から挿入してください。
- ・シール剤は必ず「セメダイン透明 8000 相当」を使用してください。
違うシール剤を使用すると、水入り防止の効果が得られない恐れがあります。



5. フロントアーチ用床下当て板取付部に付着した汚れを取り除く。
6. シール剤(セメダイン透明 8000 相当)をボデーにあけた取付穴の外周に塗布する。
7. 付属の六角ボルト(M8 × 25mm) 2 本、スプリングワッシャー(φ 8) 2 個、平ワッシャー(φ 8) 4 個及びナット 2 個を使用し、ロールバー部品取付概要(P.7)を参照して、フロントアーチの★部を仮固定する。
8. 付属の六角ボルト(M8 × 25mm) 4 本、スプリングワッシャー(φ 8) 4 個、平ワッシャー(φ 8) 8 個及びナット(M8) 4 個を使用し、ロールバー部品取付概要(P.7)を参照して、フロントアーチを仮固定する。

⚠ 注意

ボルトは車両外側から挿入してください。

9. リアバー用床下当て板取付部に付着した汚れを取り除く。
10. シール剤(セメダイン透明 8000 相当)をボデーにあけた取付穴の外周に塗布する。
11. 付属の六角ボルト(M8 × 40mm) 4 本、六角ボルト(M8 × 25mm) 2 本、スプリングワッシャー(φ 8) 6 個、平ワッシャー(φ 8) 12 個及びナット(M8) 6 個を使用し、ロールバー部品取付概要(P.7)を参照して、リヤバーを仮固定する。

⚠ 注意

ボルトは車両外側から挿入してください。

12. 付属の六角穴付きボタンボルト(M10 × 45mm) 2 本、平ワッシャー(φ 10) 2 個及びフランジナット(M10) 2 個を使用し、メインアーチにリヤバーを仮固定する。
13. メインアーチ→リヤバー→フロントアーチの順で当て板を固定する。(18 箇所)
締め付けトルク：40N・m



ロールバーの締め付け

1. メインアーチ、フロントアーチ、リヤバーを車両前方に寄せながら、均等な力で車両後方側から締め付け、固定する。(4 箇所)
締め付けトルク：58N・m

👉 アドバイス

一度に 1 箇所だけ締め付けると、締め付けた側に片寄る場合があります。

2. ロールバーパッドをジョイント部にかぶせる。

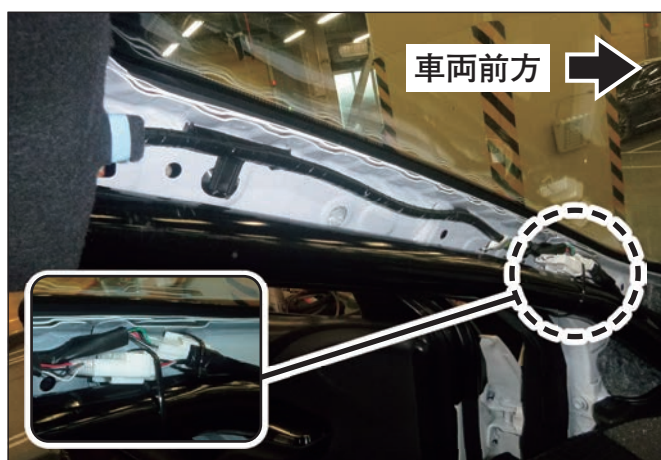
⚠ 注意

ロールバーパッドでジョイント部が完全に隠れるようにしてください。



ルーフライニング貼り付け

1. プリクラッシュコネクター、パイザー、ルームランプを復元する。
2. ルーフライニングを脱脂する。
3. フロントアーチの両面テープを剥がし、ルーフライニングをフロントアーチに貼り付ける。
4. ルーフライニング裏面(白色部)が露出している場合は、油性マジック(黒)で着色する。



A ピラー車両ハーネスの固定

1. 交換用 A ピラーガーニッシュに、車両ハーネス及びコネクターが収まるよう付属のクランプで固定する。
2. 同様に、RH 側も固定する。

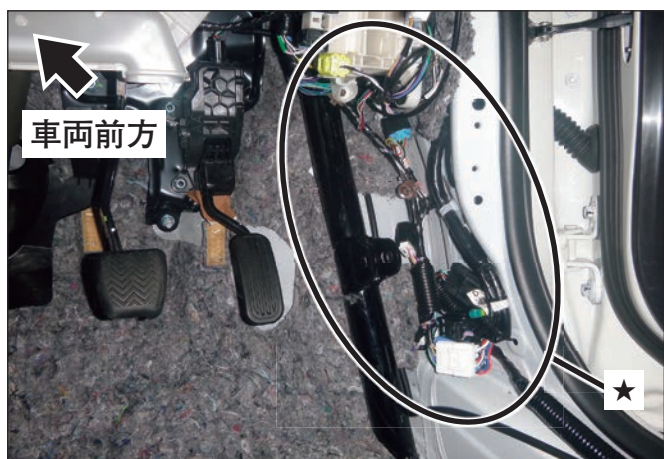


防音材の加工

1. フロントアーチに干渉する防音材をカットする。
2. 同様に、RH 側もカットする。



3. メインアーチに干渉する防音材をカットする。
4. 同様に、RH 側もカットする。



車両ハーネスの固定

1. ★部はだか線をコルゲートチューブで保護する。
2. 付属のクランプを使用し、車両ハーネスがカウルサイドトリムに収まるよう固定する。

⚠ 注意

サイドバー取付部に車両ハーネスが干渉しないよう固定してください。



フロアカーペットの加工

1. ダッシュパネルパッドを復元する。
2. 付属の指示書に従い、フロアカーペットに切り込みを入れる。



3. フロアカーペットを車室内に搬入し、ロールバー位置に合わせて加工する。

⚠ 注意

カッターナイフを使用する際は、必ずケブラー手袋を着用してください。

4. ロールバー裏側にフロアカーペットを押し込む。

フロアカーペット チェックシート

指示書	作業内容	右前	左前	右後	左後
フロアカーペット 1/2	フロントアーチ貫通穴カット				
	メインアーチ貫通穴カット				
フロアカーペット 2/2	フロントアーチ貫通穴カット				
	メインアーチ貫通穴カット				



サイドバーの取り付け(サイドバー有りのみ)

1. カウルサイドトリム LH/RH 及びフロントドアスカッフ LH/RH 以外の内装部品を復元する。
2. カウルサイドトリム加工穴にサイドバーを通す。
3. 六角穴付きボタンスクリュー (M10 × 45mm) 2 本、平ワッシャー (φ 10) 2 個及びフランジナット (M10) 2 個を使用し、サイドバー LH をメインアーチ及びフロントアーチに仮組みする。
4. サイドバー LH をメインアーチ及びフロントアーチに固定する。(2 箇所)

締め付けトルク：58N・m

5. 同様に、RH 側もサイドバーを取り付ける。
6. カウルサイドトリム LH/RH 及びフロントドアスカッフプレート LH/RH を復元する。



カウルサイドトリムの固定

1. 付属のクランプを使用し、カウルサイドトリム LH とフロントアーチを固定する。(1 箇所)



2. 同様に、RH 側も付属のクランプを使用し、カウルサイドトリム RH とフロントアーチを固定する。(2 箇所)



3. 付属のクランプを使用し、フロントアーチ RH とフロアカーペット穴を固定する。(1 箇所)



A ピラーガーニッシュの取り付け

1. 交換用の A ピラーガーニッシュ RH を A ピラーに取り付ける。
2. 同様に、LH 側も交換用 A ピラーガーニッシュ LH を取り付ける。

復元作業

下記の点に注意し、取りはずした車両部品を復元してください。

⚠ 注意

- ①車両ハーネスが噛み込んでいないこと
- ②ネジ類の締め忘れ、クリップ等の半嵌合がないこと
- ③コネクター類の嵌め忘れ、または半嵌合のないこと
- ④車両部品に傷を付けないこと
- ⑤ドアロック・パワーウインド・ハザード等、電気系統に異常のないこと

バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。
車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。
※車両システムの初期化には、GTS等のツールが必要な場合があります。

取り付け完了後の確認

取り付けの確認

1. 取り付けに異常がないことを確認してください。
2. 取り付けの際、車両に傷が付いていないことを確認してください。

ユーザー様へ

使用上のご注意

⚠ 警告

- ・安全且つ快適にご使用頂く為に、日常点検、保守管理を実施してください。
- ・緩みやガタつきがないことを確認し、必要に応じて増し締めを行ってください。

MEMO

MEMO

